札幌医科大学附属病院
看護部のホームページ
▼

札幌医科大学附属病院

看護部案内

Sapporo Medical University Hospital
Division of Nursing

看護の専門性を発揮する力と一人ひとりのキャリアを育むことを大切に

看護部の理念

札幌医科大学附属病院の看護職員は、道内における看護の発展に寄与する使命と最先端の医療を担う医療チームの一員としての役割を自覚し、発展的で創造的に看護を実践する責務を負う。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を看護の基盤とする。
2. 社会と医療の動向を的確に捉え、時代の要請に応えた看護を提供する。
3. 常に看護の本質を追求し科学的で創造的、かつ主体的に看護を実施する。

概要

病　床　数：８４４床
診　療　科：３２診療科
看護師総数：８７７名
（うち男性職員：68名）
看護体制：PNS®
（パートナーシップナーシングシステム®）

あいさつ

副院長・看護部長
兼看護キャリア支援センター長
團塚 恵子

札幌医科大学附属病院は、北海道の中核病院として、高度で先進的な医療を提供するとともに、教育、研究機関としての使命を担っています。看護部もその一員として、患者中心の質の高い看護を実践し、チーム医療の中で看護の専門性を発揮できるよう努めています。また、医療の高度化・多様化が進む中で、看護職としての知識・技術・倫理観を磨き続けることを大切にしています。

近年、看護師のキャリアは多様化しており、臨床実践だけではなく、認定看護師・専門看護師としてスペシャリストの道、管理職、教育・研究分野への道など、幅広い選択肢が広がっています。看護キャリア支援センターでは、こうした多様なキャリア形成を支援する体制を整えており、個々の目標や適性に応じた学びと成長の機会を提供しています。

今後も地域と社会から信頼される看護を提供し続けるために、看護職員一人ひとりがいきいきと働ける環境づくりを進めていきます。

看護師の第1歩を一緒にはじめてみませんか？

病棟紹介

南10階病棟

患者さんの価値観に寄り添った看護を目指しています

診療科/腫瘍内科

当病棟には、胃や大腸、膵臓などの消化器がん、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの血液疾患、原発不明がんや肉腫などの希少がんなど、多くのがん患者さんが入院しています。

がん診断前の検査の段階の方から、繰り返し化学療法をうける方、がんの終末期の方など、様々なステージの方がいます。緩和ケアチームや栄養サポートチームなど多職種と密に連携を行いながら、患者さんの生活の視点に立ち、価値観に寄り添った看護を目指しています。

北６階病棟

周産期を中心とした各ライフサイクル期の女性とその家族への支援を行っています

診療科/産科周産期科+共用

産科24床、女性共用10床を有しており、スタッフは全員助産師です。他院からの母体搬送、未受診妊婦の受け入れなど札幌市の産科3次救急の一角を担っています。また、産科麻酔チームと協働し無痛分娩も行っています。

産科には母体合併症・胎児疾患・複雑な社会的背景の方、女性共用には主に婦人科の方がいます。幅広い年代の多様な疾患の方を対象としているため、個別性のある関わりを重視しています。ウェルネスの視点を大切に、患者さんとその家族が満足できるような看護を目指しています。

北５階病棟

患者さんの主体性を大切に、持てる力を最大限に引き出せるような関わりを目指しています

診療科/心臓血管外科・呼吸器外科

当病棟は心臓血管外科と呼吸器外科を中心とした病棟です。心臓血管外科では弁膜症や大動脈瘤、末梢血管疾患、呼吸器外科では肺癌、気胸、漏斗胸などに対する外科的治療を受ける患者さんが入院され、手術前後のケアやリハビリテーションを多職種と連携しながら提供しています。侵襲の大きい手術を受けた方が安心して元の生活に戻れるよう、患者さん主体の看護を心がけ、チーム一丸となって支援に取り組んでいます。

西５階病棟

子どもとご家族との関わりを大切にしています

診療科/小児科

私たちの病棟は小児病棟です。血液疾患や神経疾患、内分泌疾患、腎疾患、心疾患などの内科的治療を必要とする子どものほか、整形外科や形成外科などの外科的治療を必要とする子どもが入院しています。子どもとご家族との関わりを大切に、子どもとそのご家族が不安なく生活できるように、保育士や学校教諭も含めた多職種と協働し、スタッフ一丸となって看護しています。

手術部門

専門性の高い環境で活気良く明るい雰囲気で働いています

心臓血管外科、消化器外科、脳神経外科、婦人科、整形外科など計１３科の手術を日々行っています。開胸手術、鏡視下手術はもちろん、近年ではロボット支援下の手術も多く実施しています。患者さんが安全かつ安心してよりよい手術を受けられるよう、専門職として知識・技術を磨き、日々頑張っています。また、麻酔科医師、臨床工学技士、手術看護認定看護師による勉強会を毎年開催しており、専門職の方々から直接教えていただける、新人の皆さんも手厚く学習できる環境です。

他の病棟については、ぜひ看護部のホームページもご覧ください →

教育体制

私たち看護職には、様々な道筋があります。新人時代を経て中堅となり、看護実践の中で自分の目指す看護分野を見出してその道を進むスペシャリストになる方もいれば、幅広い領域で能力を発揮するジェネラリストになる方もいます。また、人生にはライフイベントもあるので、結婚や出産などで休業を経て、職場復帰を果たす方もいます。

看護職を目指している方の未来に夢が描けるよう、キャリア形成を支援します。

クリニカルラダー

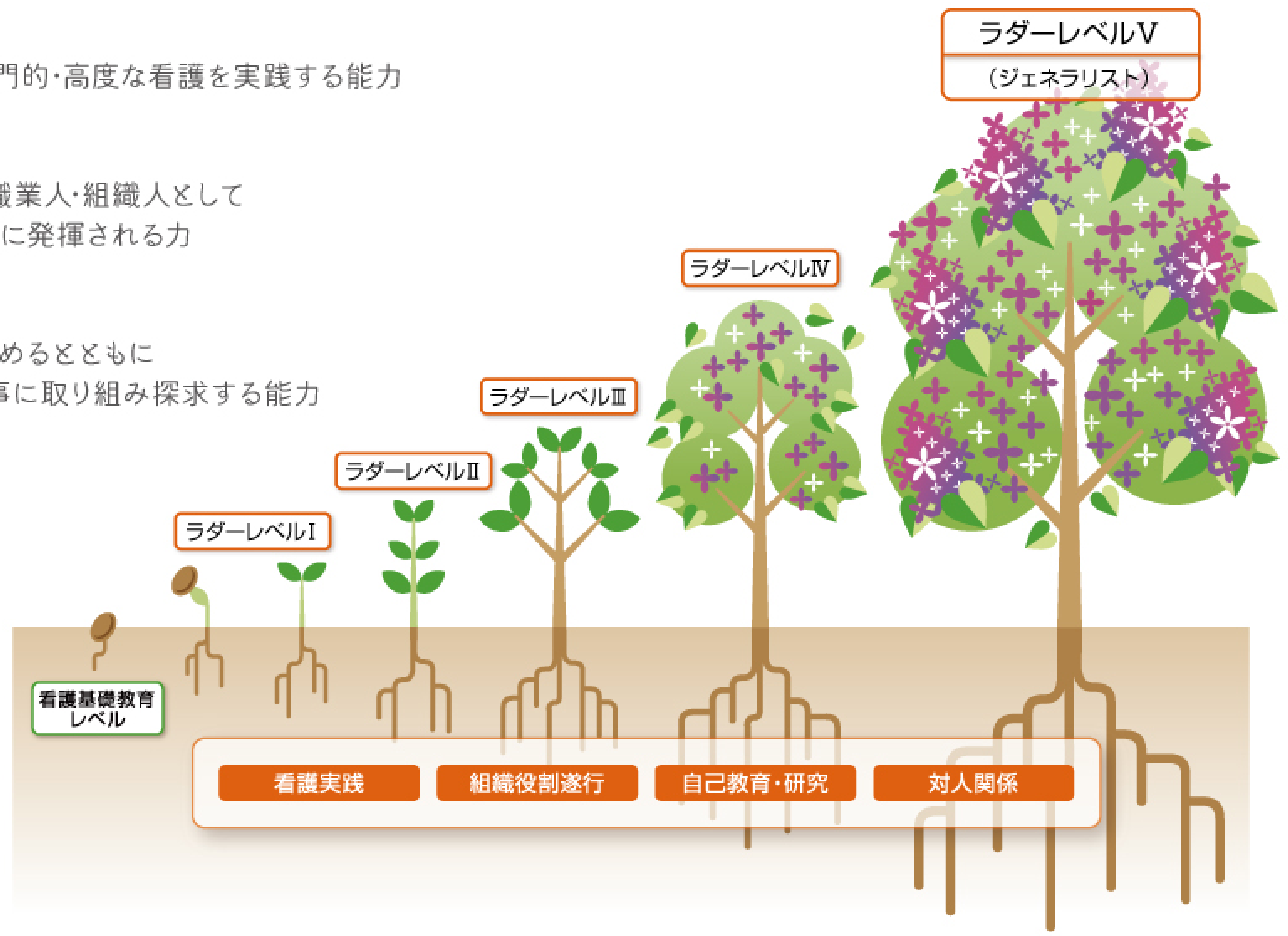
クリニカルラダーは、看護職の臨床実践能力を段階的に示し、客観的に評価する基準であり、キャリア開発の指標となるものです。

看護実践能力
基本的看護技術から、特殊・専門的・高度な看護を実践する能力

組織役割遂行能力
理念や目標達成に向けて専門職業人・組織人として求められる役割を遂行するために発揮される力

自己教育・研究能力
専門職として自己の実践力を高めるとともに看護の改善や発展のために物事に取り組み探求する能力

対人関係能力
多様な年代や立場の人との人間関係を形成する能力



みんなで育てる！ 育てあう!!

新人看護職員が職場適応し、自信を持って一歩ずつ臨床実践能力を獲得できるよう、「みんなで育てる、育てあう」サポート体制を整えています。

病　棟

看護キャリア支援センター

看護キャリア支援センター ホームページ

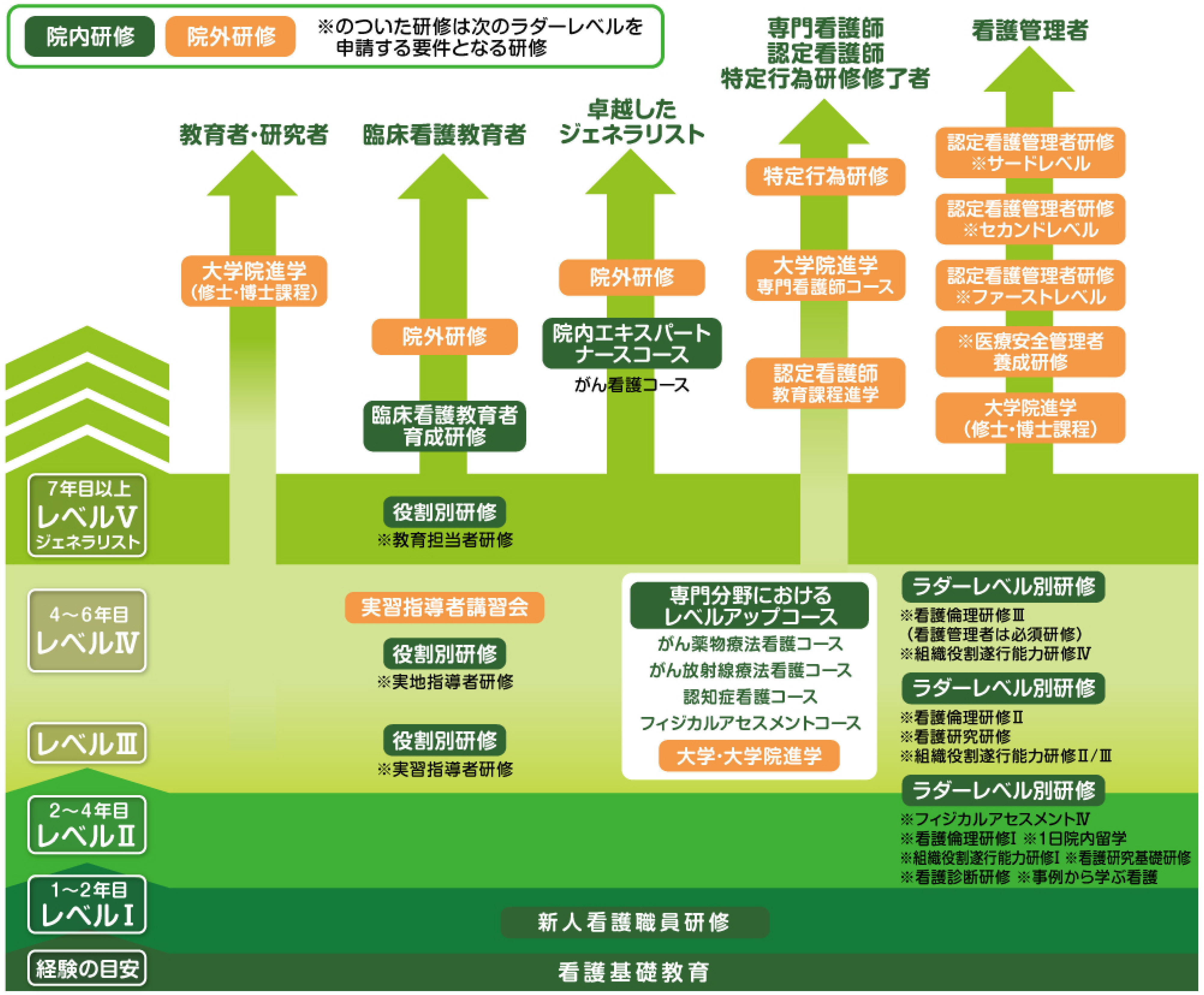
フレンズルームや新人看護職員研修の企画等をしています!!

新人バッジ

新人看護職員が初心者としての自覚をもち看護に取り組むため、また患者さん・ご家族・他機種へ新人であることを提示するために、1年間バッジを着用します。

キャリアパス

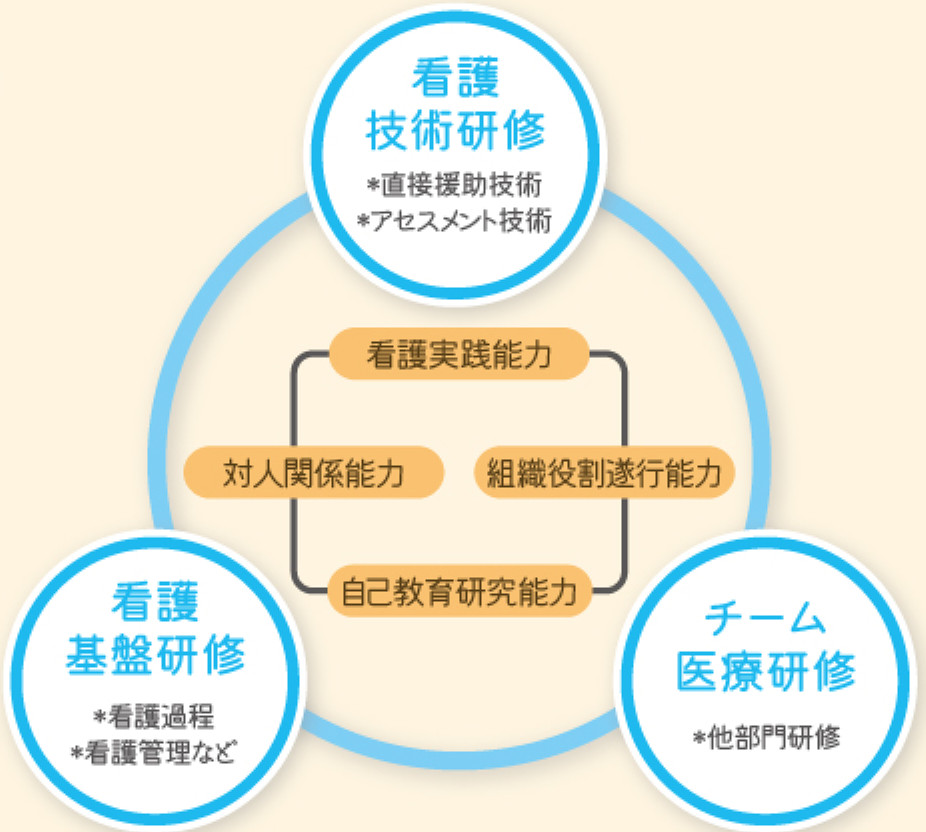
キャリアパスは、クリニカルラダーの段階にあわせたラダー別研修を行っています。院外研修や卒後教育（大学院進学など）を経て、認定看護師や専門看護師、看護の実践者として卓越したジェネラリスト、教育者・研究者や看護管理者へのコースなど多様な選択肢を提示しています。



新人看護職員研修の特徴

新人看護職員研修は看護技術研修、看護基盤研修、チーム医療研修の3本柱で構成しています。

看護技術研修では、看護実践に共通する技術を習得し、看護基盤研修では看護実践に必要な知識を学びます。チーム医療研修ではチーム連携・協働のあり方を学ぶと共に、看護職としての役割認識を深めます。講師や教育担当者と協働し、新人看護職員の主体的思考態度を育む教育方法を取り入れた研修を行っています。



新人看護職員対象

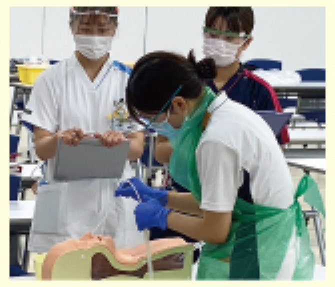
新人看護職員に研修や職場適応相談などを行います！

職場適応相談（フレンズルーム）

FR

リアリティーショックの緩和や職場適応を促すための定期的な個別相談を行っています。

新人看護職員の年間研修スケジュール



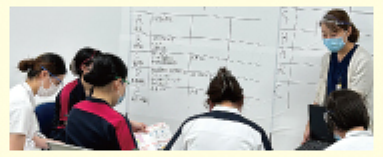
4 APR
- 新規採用時研修
- フィジカルアセスメントⅠ

5 MAY FR
- 吸引
- フィジカルアセスメントⅠ
- 糖尿病の薬物療法と看護
- ME機器の取扱いと看護

6 JUN
- 院内BLS・AED

7 JUL
- 社会人基礎力
- フォローアップ研修
- 褥瘡・MDRPU予防
- 多重課題

8 AUG
- フィジカルアセスメントⅡ事前学習会
- 導尿
- 膀胱留置カテーテルの挿入・管理・抜去
- 感染予防技術



9 SEP FR
- フィジカルアセスメントⅡ
- 他部門研修

10 OCT

11 NOV
- 看取りのケア
- 社会人基礎力
- 看護診断基礎

12 DEC
- フィジカルアセスメントⅢ

1 JAN FR

2 FEB

教育担当者は、新人看護職員研修の援助者として参加しています

3 MAR

中堅看護職員対象

中堅看護職員に研修やキャリア相談などを行います！

専門分野におけるレベルアップコース

看護職員の看護実践能力向上と院内全体の看護の質向上を目指し、特定の分野における研修を行っています。

現在、「認知症看護コース」「がん薬物療法看護コース」「がん放射線療法看護コース」「フィジカルアセスメントコース」を開催しています。

認知症看護コース

「認知症ケア加算3」を算定している施設基準対応研修です。

認知症の基礎知識から看護倫理・地域連携などを学び、事例をもとに、認知症者のアセスメント・ケアを考えます。

講師の皆さま

教育担当者研修・実地指導者研修

新人看護職員の教育を担う教育担当者・実地指導者への研修を行っています。

院内エキスパートナースコース

質の高い看護を提供するために、当院の職員に求められる役割を発揮し、自部署の看護の向上や課題解決に向けて実践する能力を養う研修を行っています。

キャリア a・re・ko・re 交流会

多様なキャリアを経験した看護職と交流します。

専門性の高い看護職や、子育てをしながら働く看護職、海外で活躍した経験のある看護職と対話できる機会をつくり、自らのキャリアを築いていくことを支援します。

育児中の看護職員対象

子育てしながら働く看護職員を支援します！

ママパパフレンズ ～働くママ&パパの交流会～

育児をしている看護職員や将来出産・育児を予定している看護職員が、それぞれの立場で思いの丈や情報交換をしながら交流することでリフレッシュし、育児と仕事を両立し看護職としてのキャリアが継続できるよう支援します。

ママパパフレンズサポートブック

育児に関する様々な規程や当院看護職員の具体的な1日のタイムスケジュールなどを掲載しています。

臨床看護教育者育成

教育のスペシャリストを育てます！

臨床看護教育者育成研修

臨床現場において看護基礎教育・継続教育に関わる指導者として教育的な知識・技術・態度を備え、学習者の特性に即した教育指導を実施することができ、臨床教育の場でリーダーとしての役割を担える教育者を育成する研修を行っています。

修了者には、バッジが授与されます!!

福利厚生

基本給：助産師（大卒） 258,500円

看護師（大卒） 253,100円

看護師（専修3年過程卒） 249,400円

賞　与：年2回（令和5年度実績4.5ヶ月分）

手　当：通勤手当、住居手当、夜勤手当などあり

年次有給休暇：20日/年（最大20日間次年度繰越可）

夏季休暇：5日

冬季休暇：2日

結婚休暇：7日

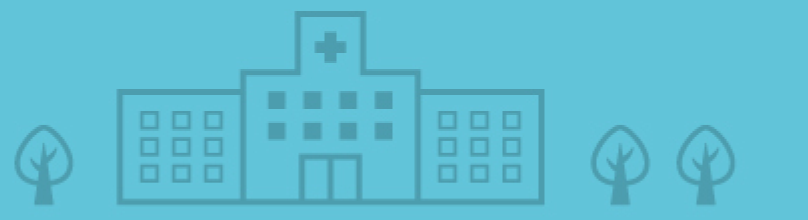
リフレッシュ休暇：2~3日（勤続20年と30年で利用可）

育児休暇：子が2歳になるまで1日2時間まで

子の看護等休暇：5日/年（子1人につき）

介護休暇：5日/年

ワーク・ライフ・バランスについて看護師長にインタビュー



仕事を無理なく続けるためには、プライベートと仕事のバランスが非常に大切だと考えています。子どもは併設する医大保育所に預けていました。医大保育所は、延長保育や休日預かりが可能でその制度を利用して、まとめて仕事をする日を決め、それ以外の日は残業しないようにしていました。また、休日出勤をすることで平日に代休をもらったときは、自己研鑽や息抜きの時間としていました。

今は子どもが小学生になり、習い事や学校行事もありますが、一緒に働く方たちの協力も得ながらできるだけ仕事を調整し、子どもとの時間を過ごしています。

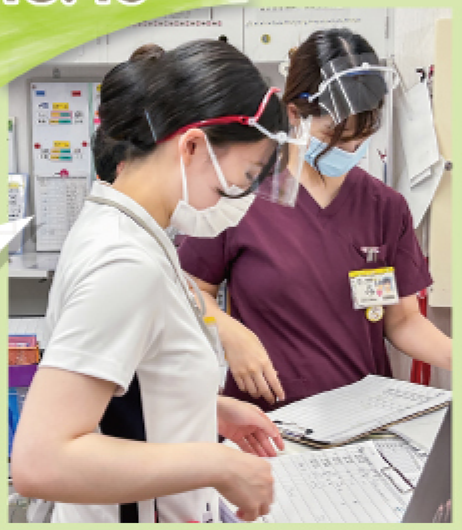
看護師長としては、シフトを作成する際に、スタッフの家庭状況、個人が希望する休みに配慮をしています。今は夏季休暇を利用し、希望する場合には最大7～9日程度の連休をつけています。

新人看護師の１日

AM8:30

おはようございます！
今日も患者さんのために
がんばります！！

AM8:45



ペアの先輩と一緒
に情報収集！！

AM9:00

患者さんの病室へ！

ペアで相談しながら
ケアを行います。

AM9:15

バイタルサインを測定！

AM10:30

清拭をします。

PM12:00

休憩中！！

PM13:30

採血をします。

点滴を作ります

PM14:00

多職種カンファレンス！！

PM15:00

レントゲン室へ

PM16:00

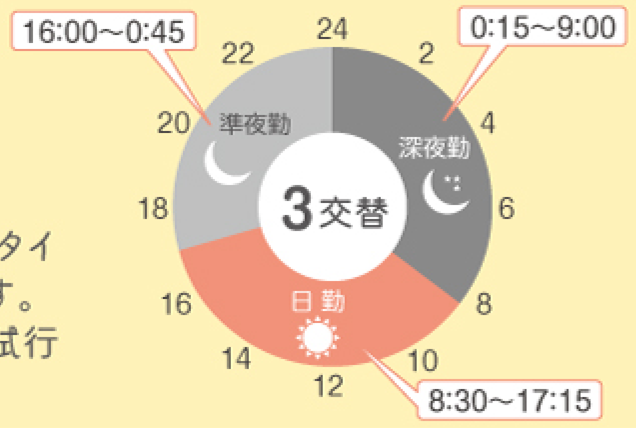
１日の看護を先輩と
振り返ろう！！

PM17:15

勤務終了☆
おつかれさまでした

勤務体制

３交替制勤務でライフスタイルに合った働き方ができます。
R6年度より２交代制も試行しています。



３交代制の例

その月の土日祝の数が休日数となり、シフトで割り振られます。
これをベースに休暇取得が可能です。

日	月	火	水	木	金	土
	1 日勤	2 日勤	3 日勤	4 日勤	5 休日	6 準夜
7 準夜	8 休日	9 深夜	10 深夜	11 休日	12 日勤	13 休日
14 休日	15 日勤	16 日勤	17 日勤	18 日勤	19 日勤	20 休日
21 準夜	22 準夜	23 休日	24 深夜	25 深夜	26 休日	27 日勤
28 休日	29 日勤	30 日勤	31 日勤			

Q&A Interview with Nurse

新人 Nurse

Q 入職したきっかけは何ですか？

A 最先端な医療技術を学び領域や対象を問わずにケアを提供できるような知識や技術を身につけ、患者さんを支えられるような看護をしたいと思ったからです。

Q 実際に働いてみて良かったことは？

A 難しい病態なども先輩からの温かく手厚いサポートのおかげで日々学びながら安全な看護を提供できることです。

Q 当院の魅力はなんですか？

A 高度な治療やケアについて学ぶことができる点と教育プログラムが充実しているため、自分のキャリアプランにも繋げやすいことだと思います。

Q 職場の雰囲気はいかがですか？

A 忙しさはありますが協力体制があり、和気あいあいとしているので先輩に聞きやすい雰囲気があり、安心して働けています。

Q これからの目標を教えてください。

A 研修や制度を活用しながら幅広い疾患を看ることができるようになりたいと思っています。

Q 当院を目指すみなさんへメッセージをお願いします。

A 働き始めると少しずつ自分にできることが増え、患者さんに喜んでいただけると毎日やりがいを感じます。これから大変な時期になるかと思いますが、応援しています。

新人指導 Nurse

Q 新人指導を実際にやってみてどうですか。

A 新人さんの頑張りや成長を見ると、先輩として大きな刺激とやりがいを感じ、自分のモチベーションが高まります。また新人さんが、患者さんや先輩看護師から、働く姿勢や日々の努力について褒めてもらったり、認められた時は自分のことのように嬉しく思います。

Q 新人指導をする上で心掛けていることは？

A 新人さんにフィードバックする時は、課題だけでなく、新人さんの良いところや強みも振り返るようにしています。新人さんにとって常に頼れる味方であるよう、日々指導にあたるよう心掛けています。

Q 部署全体での新人指導として大事にしていることは？

A 新人指導では、部署のスタッフ皆で新人を育てるという風土と、新人さんが部署の先輩看護師たちに頼りやすい環境をつくることが大切です。新人指導者として、部署の各スタッフと新人さんを繋ぐ役割を担っているということを意識するようにしています。

Q これからの目標を教えてください。

A まずは今年度の新人指導者としての役割を全うし、その後はより一層看護師としての専門性を高めキャリアアップを目指します。

Q 当院を目指すみなさんへのメッセージをお願いします。

A 当院には、皆さんの目標となるような頼りがいのある先輩看護師が多く在籍しています。私たちと一緒に、実践を通じて多くのことを学びながら、患者さんやそのご家族に寄り添う看護を提供していきましょう。

中堅 Nurse

Q 今まで経験した部署はどこですか？

A 整形外科病棟、ICU病棟

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

A 患者さんと共に回復への過程を進むことができたり、患者さんや家族の支えになれたりするところにやりがいを感じます。整形外科では患者さんの退院を見据えたリハビリテーションなどの回復への支援、ICUでは重篤な患者さんの苦痛緩和や不安を抱えるご家族の支援など、部署の特徴や患者さんの置かれている状況が異なっても柔軟に役割を果たせるところもやりがいを感じるポイントだと思います。

Q これからの目標を教えてください。

A 私は、RST（呼吸ケアサポートチーム）に所属しており、特定行為研修を修了しました。RSTの活動や、特定行為研修で得た知識や技術を活かし、自部署以外の患者さんにも、少しでも良い看護を提供できるようになりたいと考えています。

中堅 Nurse

Q 今まで経験した部署はどこですか？

A 消化器乳腺外科病棟、脳神経外科病棟

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

A 患者さんの回復をサポートし、元気になった姿や笑顔をみられた時にやりがいを感じています。また実地指導者や部署のスタッフと協力しながら新人教育に携わる機会も増え、自身にとっても学びが多く、様々な看護観を学ばせてもらっています。

Q これからの目標を教えてください。

A 退院後もその方らしく、患者さんや家族が望む生活を送れるよう、他部署と連携しながらサポートしていきたいです。また教育を担う立場として、部署の看護の質の向上に少しでも貢献できればと思っています。

ママさん Nurse

Q 今まで経験した部署はどこですか？

A 消化器・血液内科病棟、婦人科病棟・外来

Q 育児と仕事の両立をするために工夫していることはありますか？

A 時短家電の導入、休日に料理の作り置き、家族内で家事育児の役割分担をすること。

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

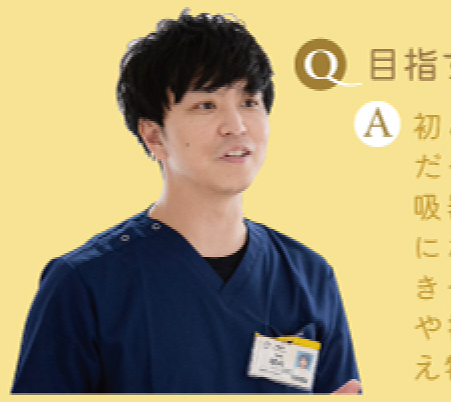
A 時短勤務にさせていただいているので、限られた時間で看護を行う難しさを感じることもありますが、その中でも、周りのスタッフと協力して必要なケアを提供できたときや、患者さんに寄り添った看護が行えたと思えたときに、看護師としてのやりがいや楽しさを感じます。

Q これからの目標を教えてください。

A 育児と仕事を両立しながら、長く看護師を続けていきたいと思っています。

専門看護師 Professional Nurse	9名	がん看護、精神看護、小児看護、急性・重症患者看護、在宅看護
認定看護師 Certified Nurse	32名	集中ケア、皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、摂食・嚥下障害看護、手術看護、がん放射線療法看護、感染管理、認知症看護、慢性呼吸器疾患看護、慢性心不全看護、新生児集中ケア、乳がん看護、救急看護、クリティカルケア、脳卒中リハビリテーション看護
特定行為看護師 Nursing Designated Care	11名	

呼吸器疾患看護認定看護師・特定行為看護師



Q 目指すきっかけを教えてください。

A 初めて配属された部署が呼吸器内科だったのですが、呼吸器疾患看護や呼吸器そのものに大きな関心を持つようになったことが、認定看護師を目指すきっかけでした。さらに同分野の知識や技術的なスキルを身につけたいと考え特定行為看護師の道に進みました。

Q 仕事と学業の両立をするために工夫していたことはありますか？

A 学業については2-3か月先までのタイムスケジュールをしっかりと組むようにしました。どちらか一方を軸にしないように、どちらも疎かにしないように、仕事も学業も進捗をしっかり確認するようにしていました。

Q 現在の活動内容を教えてください。

A 所属部署において活動を行っています。主にPICCカテーテル留置や動脈血採血、人工呼吸器の設定変更などを行うことが多いです。

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

A 「こうしたらこうなる」ということが見えやすく、実践したことと結果が結びつくことです。そして、それが患者さんへの効果としてあらわれることにやりがいを感じます。

Q 仕事以外の時間はどのように過ごされていますか？

A 趣味に費やす時間をたっぷり取るようにしています。仕事に向かえるようにしっかり英気を養う時間をつくるようにしています。

Q これからの目標を教えてください。

A 知識や技術の研鑽、アップデートを続けることが目標です。また、同じように認定看護師や特定行為看護師を目指す仲間ができるよう働きかけていきたいです。

小児看護専門看護師

Q 目指すきっかけを教えてください。

A 看護師になるきっかけが小児看護であり、長く小児看護に携わりたいと思うなかで専門的な知識や根拠ある実践をしたいと思い専門看護師を目指しました。

Q 仕事と学業の両立をするために工夫していたことはありますか？

A 時間を有効活用できるように、毎日計画的に課題や論文作成を進められるようにしていました。また、休むときは休むというようにメリハリをつけていました。

Q 現在の活動内容を教えてください。

A 病棟内での実践やコンサルテーション、他病棟からのコンサルテーションを主に行っています。また、看護大学での看護学生への講義、演習援助も行っています。

Q 学業との両立のために職場ではどのような支援を受けましたか？

A 病棟勤務と大学院の両立のために、2年間夜勤専従として勤務させていただきました。また演習・実習期間には数週間～2ヶ月程度の休みをいただき、実習に専念することができました。このようなサポートにより仕事と学業の両立ができ、修了に繋がったと思います。

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

A 病棟のスタッフと共に子どもたちにとってより良い看護を考え実践することや実践により子どもたちやご家族の笑顔がみれることにやりがいを感じています。

Q これからの目標を教えてください。

A これまでは病棟の中で専門看護師の活動を行うことが多かったのですが、今後は院内全体での組織横断的な活動を行っていくことが目標です。院内には様々な病棟に子どもが入院しているので、子どもの力を発揮できるような看護が提供できるように活動を行っていきたいと思います。

管理者・副看護師長

Q 副看護師長になったのは何年目のときですか？

A 15年目のときです。

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

A チームの看護の力や成果、成長を実感できるところです。

Q 修士課程に進学されるきっかけを教えてください。

A 以前から大学院への進学に興味はありました。臨床現場で看護研究の指導を担う機会があったのですが、自身の知識不足、能力不足を痛感し、自らが学び直す必要性を強く感じました。しかし、入試科目の英語に高いハードルを感じ、しばらく足踏みしていましたが。背中を押して応援しくれる人たちのおかげでスタートを切ることができました。

Q 学業との両立のために職場ではどのような支援を受けていますか？

A 時間割に合わせて修学部分休業と年休を組み合わせ、履修時間や学習時間を確保していただいています。担当業務にも配慮いただき、本当に支えられています。

Q 仕事、学業、家庭の両立のためにどのような工夫をされていますか？

A 仕事では、限られた時間の勤務となってしまうので、その中でもなるべく周囲とコミュニケーションを取ることを心がけています。学業は、いただいた時間の中でやれるだけやる、やれなかったところは諦めて謝る、と割り切っています。家族には以前から支えてもらっています。子供の受験と自分の学業で大変な時が被らないように、調整して進学したつもりですが、これからのことはまだわからないなと思っています。

Q これからの目標を教えてください。

A 修士課程での学びを臨床実践に還元していきたいです。管理者としては、看護師が、患者さんへのより良い看護の提供を通して元気になっていくような、自己実現できるような職場づくりを目標にしていきたいと思っています。